

みらい



No.8

主な内容

平成30年

9月議会・10月議会
12月議会 要旨報告

討議資料

■発行責任者／渡部 英治 ■編集責任者／三浦 茂人

「帰ってくることができる秋田県」、
 「幸せを感じられる秋田県」を
 作らなければなりません！



今こそ「独立系！」

秋田県議会
福祉環境委員会所属

よし かた せい げん
吉 方 清 彦



よしかた
吉方せいけんは いつでも現場主義！



平成の時代も最終盤を迎えようとしております。昭和が終わり30年が経ち、平成から次の時代へと移っていく中でまだ政治の世界では「保守」・「革新」といった表現で色分けする傾向があります。秋田県に暮らす私たちがどうすれば幸せを感じることができるか、豊かさを感じることができるかを考えなければいけないときに、活発な議論でぶつかることはあっても最初から立ち位置を固定するようなことはあってはなりません。県議会に与党も野党もありません。あるのは「県民の利益の最大化」です。

私たちの会派「みらい」はまさにそういった無所属「独立系」の議員の集まりです。時には意見対立もありますが、それも大事な政治の過程です。これからも私たちは是々非々の考え方で秋田県の政治を行っていきます。

吉方せいけん事務所

〒016-0854 秋田県能代市豊祥岱1-50
TEL 0185-74-6260 FAX 0185-74-6262

吉方せいけん公式ホームページ <http://www.seigen-y.net/> Facebookもご覧ください。こちらのQRコードから→



よしかた

吉方せいげん 県議会だより



討議資料

「私たちの地域にとって本当に必要なことは何か」

日々の活動はホームページにて報告しています。ぜひご覧ください。

- 吉方せいげん公式サイト フェイスブックにて活動報告
<http://www.seigen-y.net/>
- 吉方せいげん 検索

吉方せいげんが2年間の一般質問や 予算委員会で訴えてきたことの一部



旧能代産業廃棄物 処理センター問題について



旧能代産業廃棄物処理センターの焼却施設



いまだ高濃度の汚染水が存在する処分場内ため池

今まで60億円以上かかった旧能代産業廃棄物処理センターの環境対策費は、31年度予算でも1億5千万円以上計上されています。対策の根柢の産廃特措法は平成34年で期限となります。

今でもその場に残る汚染物質を取り除く方法について他県の例を参考に質問、提言しました。

秋田県の木材産業の未来を どう考えるか?



秋田県最大の製材工場「アスクウッド」

木で作られた国際教養大学の図書館(24時間利用可能で有名)

沢山の財産が秋田県の山には残っています。木の使い方が大きく変わった現代において今後の秋田県の木材産業について質問しました。

幼児期・小学・中学・高校・大学、 それぞれの時期に合わせた子育て支援策

学校単位では限界が見えてきている部活動を地域スポーツクラブへ移行すべきであるなどの提案を初め、子育て世代として「こうあってほしい」とことを訴えました。



※イメージ画像

他に

- 地域にメリットをもたらす風力発電について
- 今後の「米の政策」と「園芸作物の推進」について
- 労働力不足と外国人材の活用についてなど